

科目名 Course Name	哲学 Philosophy				ナンバリング No.	A1-020	
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡方法	質問等は授業終了後、あるいはC-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>古代～近代ヨーロッパにおける哲学、思想の学習を行うものとする。</p> <p>① 本授業を通して、自分の考えを自身の言葉で述べるができるようにする。</p> <p>② 西洋思想について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。</p> <p>③ 哲学という正解の存在しない問題に対する解決能力を養うことができるようにする。</p>						
授業の方法	<p>パワーポイントを用いた講義形式にて授業を行う。</p> <p>補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。哲学と絡めた歴史の講義も並行して行う。</p> <p>生徒諸君の理解度を図るため、期末試験に該当するプレゼンテーション発表を実施する。</p>						
学習成果	L01	社会人、職業人において必要とされる、思考力、問題解決能力を養うことができる。プレゼンテーションを通して、自らの思想、哲学を述べるができる。					
	L02	哲学的思考を学ぶことで、多面的な視点、思考を身に着けることができる。自分の考えを、自らの言葉で、明瞭に述べるができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業について質問があった際はメールまたは文書にて各自フィードバックする。						
教科書/参考図書	なし						
履修上の留意点やルール等	<p>① 折を見て質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。</p> <p>② チャイムが鳴った後の遅刻は原則認めず、減点対象とするので注意すること。</p> <p>③ 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:サービス業 職歴:15年)</p> <p>(科目名:哲学) 民間企業における管理職経験から社会人になる生徒諸君が自分で思考したことを、自分の言葉で話せるよう、講義を通して導いていく。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点とする。		15		
レポート/作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもら。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		15		
発表	プレゼンテーションを実施してもら。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。		20		
小テスト	授業の理解度を示すため、適宜実施する。		5		
試験	ペーパー試験を実施。出題された内容について、論理的、明晰に回答できた場合は満点とする。	45			
その他					
合 計		45	55		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等についての説明)、講義内容についての事前案内
	事前・事後学習	授業開始に向けて、哲学の名称、由来、概念を予習し、準備しておくこと
2	授業内容	古典哲学① 哲学とは何か、ソクラテス以前の哲学者たち
	事前・事後学習	「世界は何でできているのか」を聞くので、自分なりの回答を考えておくこと
3	授業内容	古典哲学② ポリス民主制の発展とソフィスト、ソクラテスと無知の知
	事前・事後学習	ソクラテスの「無知の知」について、自分なりの解釈を述べられるようにしておくこと
4	授業内容	古典哲学③ プラトンのイデア論と哲人王、アリストテレスと政治学、テオリア的生活
	事前・事後学習	ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想について、自分なりに整理しておくこと
5	授業内容	古典哲学④ ポリスの衰退とヘレニズム哲学、犬儒学派、前期ストア派、エピクロス派
	事前・事後学習	ヘレニズム哲学の諸学派について、その違いを自分なりに導き出しておくこと
6	授業内容	古典哲学⑤ ローマ帝国の発展、後期ストア派、セネカとアウレリウスの思想
	事前・事後学習	セネカとアウレリウスの生涯とその思想についての相違点を考察しておくこと
7	授業内容	中世哲学① ユダヤ教とキリスト教の成立、古代ローマにおけるキリスト教父哲学
	事前・事後学習	初期キリスト教がローマ国教化以降、どう変遷していったか考察しておくこと
8	授業内容	中世哲学② 暗黒時代のキリスト教と十字軍、トマス・アキナスと普遍論争
	事前・事後学習	普遍論争について、その概念を予習しておくこと
9	授業内容	中世哲学③ キリスト教の権威低下とルネサンス、ルターとカルヴァンの宗教改革
	事前・事後学習	カトリックとプロテスタントを予習し、その違いを答えられるようにしておくこと
10	授業内容	近代哲学① 啓蒙思想と市民革命、ホッブズとルソーの社会契約説
	事前・事後学習	社会契約説を予習し、その概念が近代国家にどう影響を与えたのか考察すること
11	授業内容	近代哲学② アダム・スミスと資本主義、産業革命と労働問題、マルクス主義
	事前・事後学習	資本主義と共産主義(社会主義)の違いについて、自分なりの答えを出しておくこと
12	授業内容	近代哲学③ 実存主義、キルケゴールと主体的真理、ニーチェと超人思想
	事前・事後学習	キルケゴールとニーチェの実存主義について、双方の長所短所を考えておくこと
13	授業内容	講義の振り返り、復習
	事前・事後学習	これまでの授業で不明だった点、復習してほしい点について考えておくこと
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと